ちとせ 砧第2

発行：編集委員会
編集責任者：堀江貞雄
事務局：砧第2出張所
(482)0343
1982.9.第3号

"プロフィール" 高橋亜信（船橋会）会長

『次は千歳船橋く』という車内アナウンスに、降り仕度をしていた時、ふと高橋会長の顔が浮かんだ…。

船橋町会副会長を20年、会長を8年、現在、町内の三千世帯もの人々の面倒をみておられます。

また、砧第2町会連合会長、青少年委員会長など、防犯、防火、福祉、交通安全等に深くかかわっておられ、本業が何やらわからない程、多方面で活躍されています。

豪族の流れを汲むせいか、一見、西郷サンを彷彿とさせるような風格がありますが、温厚にして人当りよく、誰にでも如才ない方です。

連日連夜、ひたすら、明るく近代的な地域社会づくりに貢献されているお姿には本当に感謝の念でいっぱいです…。

金澤 和子

防災（その時あなたなら…）地震の場合

『あっ!!地震だ!』「たて揺れだ!」「いや、横揺れだ!」「火を消せ〜」「非常袋は?」「外に逃げろ〜」「あわてるな!!外の方が危ないぞ〜」

さて、皆さんならどうしますか?考えたことがありますか。

いや、大地震がきたら何も考えるヒマもなく、第一体が動かないでしょう。

その場合、一番恐いのは火災です。ですが消防署では大地震のときには、一軒の火事では出動しないそうです。

あちこちで火が出れば、現有の消防力ではどうにもならないとも申しています。

区では、災害時の物資の用意はしています。パニックを起こさせないために、自治体の防災組織の強化を呼びかけ、公平な物資配分ができるよう呼びかけています。

しかし、それだけで充分でしょうか?大切なのは、ひとりひとりの心構えではないでしょうか。自らの生命は自らが守るという気持で…。日頃の訓練を切に希望します…。

（吉崎 義正）

ミニバイク

流行ってますねェ…

今、戦後最大のバイクブームらしいですね。街を歩いていると、赤、黄、青…カラフルなミニバイクが、さっそうと通りすぎてゆきます。

乗っている人たちの顔も、みんな、うきうきとして、ほんと、楽しそうですねぇ〜。

だけど、ちょっと待って下さい。あのいまわしい"事故"もどんどん増えているんですって!! みんな、安全運転で今日も楽しくルンルンルンルン…

わが町あれこれ… "粕谷会"

武蔵野の面影を残した芦花恒春園を、東の外れに擁した我が町"粕谷"は、現在ではすっかり住宅地と化してしまいました。他からの転入者も年々増えて、かつての農村のイメージはもはや見当たりません。

11の部会からなる町会も、新しい層の婦人役員が多くを占め、フレッシュな感覚で町づくりを進めています。「人間らしいふれ合いのある町を!! 心のふるさとと呼べるような町を!!」一人一人がそんな志を胸に、多くの意見をとり入れながら、日々、努力を重ねています。

楽しい行事も沢山用意しています。運動会、お祭り、旅行、敬老会、どんど焼き…

祭のおみこしには、子供の参加も年々増えて、まさに"まちのお祭り"という感じです。三台のバスを連ねての旅行には、一家をあげての参加も多いと聞きます…。

人間性の自由な解放を願った徳富芦花の終焉の地にふさわしい、『人間性豊かな町』

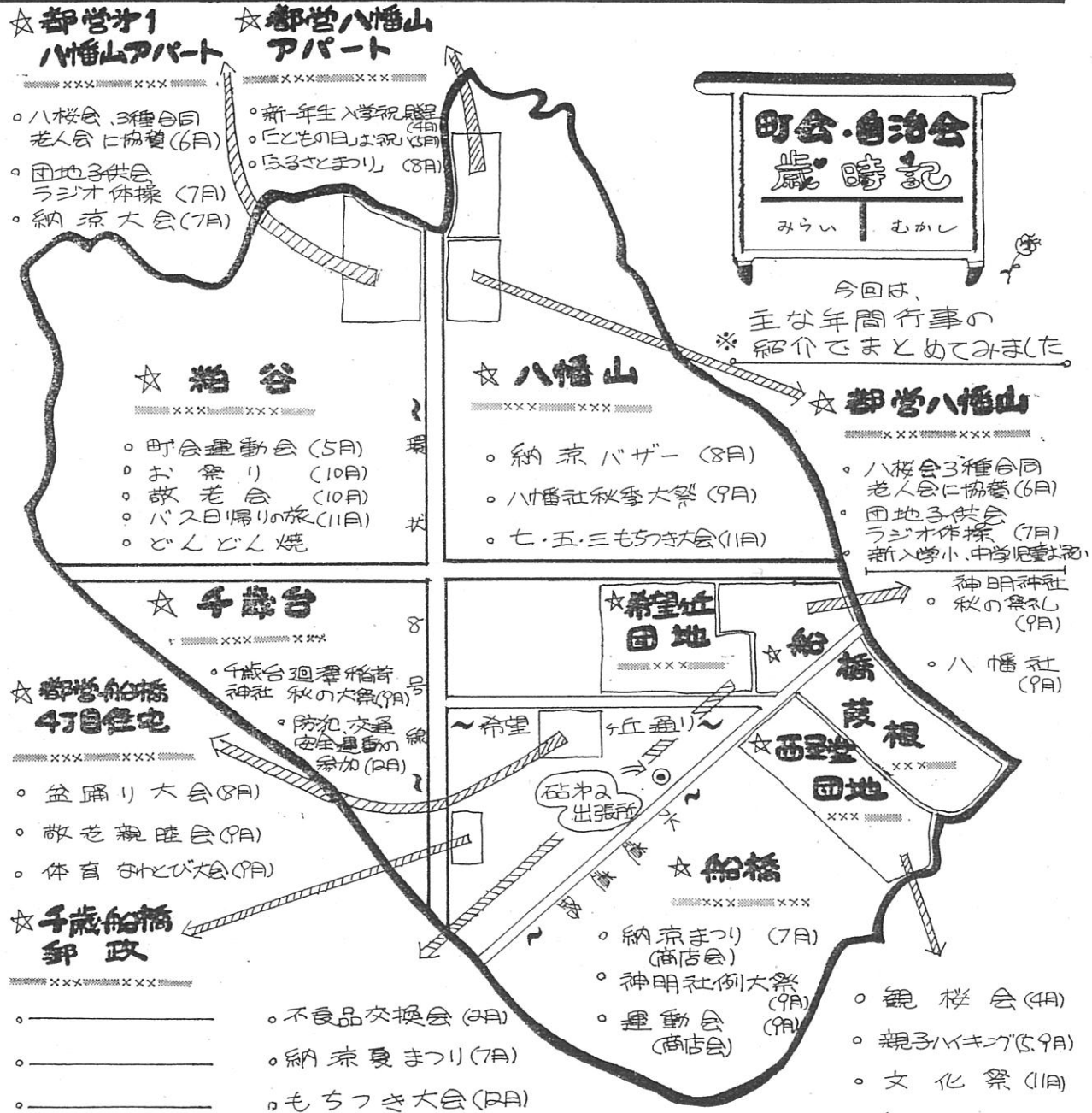
そう胸を張って言える、わが町です…。

回覧

町会・自治会 歳時記

みらい　むかし

今回は、主な年間行事の紹介でまとめてみました



シリーズ・非行プロローグ

「あぁ、また非行問題か…たけど、うちの子に限って…」と思われるかもしれません。

しかし、確実に少年たちの非行は増えています。

しかも、ごく普通の幸せそうにみえる家庭の子供たちが…。

暴力事件ひとつをとってみても、成城署への相談は、増加の一途をたどっているそうです。

万引きもまたしかり…。覚せい剤の魔手は、少年達でさえも確実にむしばんでゆきます。

親の責任？　学校の責任？　社会の責任？　誰の責任であっても犠牲者は子供自身なのですよ…。

そうなる理由はなんでしょう。私達に何ができるのでしょう。いや、何をしてゆかなくてはならないのでしょうか？

この誌面を通して、非行の実体、地域の実状、関係者の方々の意見、対策などをいろいろな角度からとらえてゆきたいと思っています。

ちと廿砧第2号が、子供たちの幸せを守る皆となることを期待してやみません。

(荻原、星、湯田)

～編集後記～

短かい夏が足早に過ぎ去り、そとはもうすっかり秋の気配です…。

読書の秋…。食欲の秋…そして、"スポーツの秋"…昔からいろいろ言われていますが、みなさん、ひとつ今年は真面目に実行してみようではありませんか？　ジョギング、サイクリング、テニス…。

ナウな気分で、シェイプ・アップ!!　(須賀)